

平成23年度 本会主催セミナー開催予定

テーマ	セミナー名	開催地	期間	開催時期	受講料(税込)	会場	対象
思春期保健	第61回 思春期保健セミナーコースⅠ(総論編)	東京 大阪 (中継)	3日間	7月29日 ～31日	東京31,500円 大阪21,000円	銀座フェニックスプラザ 新海田研修センター	保健師、助産師、看護師、医師、養護教諭、看護教員、教職員、等
	第50回 思春期保健セミナーコースⅡ(各論編)	神奈川	3日間	9月23日 ～25日	31,500円	関内新井ホール	コースⅠ修了者
	第58回 思春期保健セミナーコースⅢ(実践編)	千葉	3日間	平成24年 1月7日～9日	42,000円+ 宿泊料28,500円	成田ビューホテル	コースⅡ修了者
	第11回 思春期保健セミナー上級コース	未定	未定	*詳細が決定次第ホームページでお知らせいたします。			
	第9回 思春期保健相談士学術研究大会	東京	1日間	6月5日	10,500円	KFCホール	思春期保健相談士、保健師、助産師、看護師、医師、養護教諭、看護教員、教職員、等
	第11回 思春期ピアカウンセリング・コーディネーター養成セミナー	東京	2日間	8月20日 ～21日	21,000円	マツダ八重洲通ビル	保健師、助産師、看護師、養護教諭など思春期保健・母子保健関係者
	第7回 思春期ピアカウンセラー養成者養成セミナー(前期・後期)	東京	前期4日 後期2日	前期:7月 16日～19日 後期:12月 17日～18日	前期後期合計 138,600円	保健会館新館 多目的ホール	看護教員等ピアカウンセラーを養成できる者
女性 保健	第15回 ライフスキル教育セミナー	東京	1日間	12月18日	10,500円	マツダ八重洲通ビル	保健師、助産師、看護師、医師、養護教諭、看護教員など保健・医療・教育関係者
	第38回 中高年女性保健セミナー	東京	3日間	平成24年 2月10日～12日	31,500円	マツダ八重洲通ビル	保健師、助産師、看護師、医師など保健・医療関係者
避妊・性感染症	第91～98回 SRH(セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス)セミナー	91回東京 92回札幌 93回名古屋 94回仙台 95回大阪 96回新潟 97回福岡 98回東京	各1日間	6月18日 7月2日 8月6日 9月17日 10月15日 11月5日 12月17日 平成24年1月29日	各5,250円	都市センターホテル 札幌市教育文化会館 名古屋国際会議場 仙台国際センター フリーゼプラザ コープシティ花園 九州ビル 都市センターホテル	保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教員、教職員など保健・医療関係者
	第96回 受胎調節実地指導員認定講習会	東京	5日間	8月1日～5日	52,500円	KFCビル	保健師、助産師、看護師
健康教育・保健指導	第13回 自己効力感(セルフエフィカシー)を高め主体的な行動変容を支える健康教育実践セミナー	東京	2日間	平成24年1月 21日～22日	21,000円	自治労第一会館	保健衛生、保健・福祉専門職、産業衛生、健康教育関係者等
	行動変容実践のための保健指導者養成セミナー(スキルアップコース)	東京	3日間	7月21日 ～23日	36,750円	日本光電工業(株) 東中野事業所	医師、保健師、管理栄養士等
	行動変容実践のための保健指導者養成セミナー(ベリックコース)	東京	4日間	7月20日 ～23日	47,250円	日本光電工業(株) 東中野事業所	看護師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、助産師、栄養士等
	保健指導力プラスワンセミナー	東京	4回開催予定	*詳細が決定次第ホームページでお知らせいたします。			
	対象者をやる気にさせる保健指導を学ぶショートセミナー	大阪 東京	1日間	7月9日 9月25日	3,500円	大阪研修センター フォーラムミカサ	保健師、看護師、管理栄養士、栄養士、医師
母子 保健	こうしてすすめる性教育 生きるための心の教育セミナー	東京	1日間	6月26日	3,000円	保健会館新館	養護教諭、教職員、保健師、助産師、看護師、医師、養護教諭、看護教員など保健・医療・教育関係者
	お母さんと子どもの元気セミナー	東京	2回開催予定	*詳細が決定次第ホームページでお知らせいたします。			
全国大会	健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)	福井	3日間	11月9日 ～11日(予定)	無料	福井県 県民ホール	保健師、助産師、看護師、医師、養護教諭、看護教員など保健・医療・教育関係者
	家族計画自由集会(健やか親子21全国大会併設)	福井	1日間	11月11日 (予定)	無料	福井県 県民ホール	保健師、助産師、看護師、医師、養護教諭、看護教員など保健・医療・教育関係者

問合せ 研修課 TEL 03(3269)4785 HP <http://www.jfpa.or.jp>

平成23年 「女性の健康週間」

各所でさまざまな取り組み

3月1日～8日の「女性の健康週間」では、全国的にさまざまな取り組みが行われた。同週間は「女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立的に過ごすことを総合的に支援する」ことを目的とし、女性の健康への関心や知識の向上、女性を取り巻く健康課題に対する社会的関心を喚起する「新健康フロンティア戦略」において、「女性の健康力」が柱の一つに位置づけられている。

「女性の健康週間」は、厚生労働省、(株)日本産婦人科医学会、(株)日本産科婦人科学会の主催。平成19年4月に策定された「新健康フロンティア戦略」において、「女性の健康力」が柱の一つに位置づけられている。

厚生労働省は3月2日、東京の千代田区立内幸町ホールで「平成23年『女性の健康週間』イベント」を開催した。冒頭挨拶した宮崎雅則

しにくい状況になっているとの指摘がある」と述べた。

さらに、若い女性のやせや、更年期障害などの問題のほか、近年、疾患の増加や予後や進行の速度に性差があることが明らかになってきていること、さらには「女性の健康問題」をテーマにした講演と、「先進的な女性の健康づくりの取組事例の紹介」と題したシンポジウムが行われた。(7面に掲載)

「丸の内キャリア塾」北村邦夫本会家族計画研究センター所長は、3月2日、日本経済新聞社クロスメディア営業局の主催するセミナーで講演した。(6面に掲載)

平成23年度 母子保健指導員研修会

開催予定

- 【テーマ・講師】
- ▼4月12日(火) 睡眠覚醒リズムと体温 リズムのバランスについて 瀬川昌也(瀬川小児神経学クリニック)
- ▼5月10日(火) 「乳幼児健診の実践とポイント」平岩幹男(日本小児保健協会常任理事)
- ▼6月14日(火) 「アトピー性皮膚炎・力シタ・シラミなど乳幼児に見られる皮膚疾患」馬場直子(神奈川県立こども医療センター)
- ▼7月12日(火) 「小児にみられる泌尿器の病気(包茎など)、最新治療法」白柳慶之(神奈川県立こども医療センター)
- ▼9月13日(火) 「極低出生体重児の成長と発達」草川功(聖路加国際病院)
- ▼10月11日(火) 「女性に痩せが引き起こす将来的な母体への影響」小島美和子(クオリティライフ・サービス)
- ▼11月8日(火) 「離乳食を考える、市販離乳食の最新情報」和光堂株式会社
- ▼12月13日(火) 「母と子の心が通う卒乳について」井村真澄(日本赤十字看護大学)
- ▼平成24年1月10日(火) 「ヒソワクン・三種混合などの予防接種について」多田有希(国立感染症研究所感染症情報センター)



平成23年度 健やか親子21全国大会

事務局だより

今年度も「平成23年度 健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)」について、発信してまいります。今年度は、11月9日(火)～11日(木)の3日間、子育て先進県福井県で開催の予定です。(西澤)

「JFPAネットショップ」のご案内

『リ्यूゼリー』『メノケアモイストゼリー』を自宅から注文したい…そんな個人のお客様のニーズにお応えします! 自治体や医療機関の方へのお願い 上記の商品をお探しの地域の方や患者さんがいらした際にご紹介下さい。

「JFPAネットショップ」は「一般個人のお客様」のご注文専用です。自治体や医療機関などのお客様からのご注文は従来通りお電話やFAXにて承ります。

★詳しくはこちらにアクセスを!

検索は **JFPAネットショップ** で

<http://www.jfpa.or.jp/>

[illegible]

防止対策に新知見

表1 人工妊娠中絶を繰り返す女性の特徴(数値は%で、順に「中絶経験なし」「中絶経験1回のみ」「反復中絶経験あり」)

1.「中学生の頃の家庭」楽しくなかった	(23.4%, 34.9%, 40.4%)
2.「両親の離婚経験」はい	(12.7%, 14.0%, 25.5%)
3.「自傷行為(リストカットなど)の経験」ある	(4.8%, 14.9%, 29.8%)
4.「避妊方法について主にどこで知ったか」学校の授業	(42.0%, 34.5%, 25.0%)
5.「低用量経口避妊薬(ピル)の認知度」よく知っている	(10.7%, 23.0%, 31.3%)
6.「初めての異性とのセックス」重大だと感じていた	(75.8%, 69.8%, 54.2%)
7.「初めてセックスした相手との知り合い方」町で声をかけられたりして知り合った	(2.4%, 6.9%, 16.7%)
8.「初めてのセックスの時に避妊したか」避妊しなかった	(18.7%, 23.0%, 37.5%)
9.「人工妊娠中絶についての考え方」認める	(70.2%, 80.4%, 85.4%)
10.「結婚したい気持ちがあるか」いいえ	(22.4%, 30.4%, 77.8%)
11.「子どもの有無」いる	(52.5%, 87.2%, 89.6%)
12.「学歴」中学校卒業	(7.7%, 8.2%, 18.8%)
13.「喫煙習慣」習慣的に吸っている	(13.0%, 26.7%, 54.2%)
14.「一週間の飲酒量」一合以上	(18.8%, 25.9%, 41.7%)
15.「婚姻関係」ある	(52.9%, 72.4%, 81.3%)

(北村邦夫：「第5回男女の生活と意識に関する調査」2010)

表2 性に関する以下の事柄について、15歳までに知るべきと思う割合(%)

	2010年	2008年	2006年	2004年	2002年
男女の心と体の違い	92.6	93.7	92.7	88.7	90.3
二次性徴、月経、射精などの仕組み	93.0	95.0	94.1	89.6	90.8
受精、妊娠、出産、誕生のしくみ	89.8	91.9	90.6	84.9	86.7
セックス(性交渉)	73.4	74.9	73.2	65.7	—
避妊法	76.3	77.2	76.5	70.1	75.0
人工妊娠中絶	65.1	68.0	66.9	61.4	66.8
エイズとその予防	77.1	77.0	78.1	71.8	75.1
エイズ以外の性感染症とその予防	74.2	74.7	73.5	68.8	72.3
コンドームの使い方	67.2	68.5	68.7	61.8	62.8
多様な性のあり方	59.4	57.5	55.7	50.8	50.6
性的被害の対処法	66.2	67.7	66.1	60.4	61.0
男女間の平等や助け合い	80.4	80.0	81.5	75.4	73.1
結婚	59.5	58.6	57.5	46.6	49.9
離婚	56.1	53.7	52.7	41.7	45.7
人と人とのコミュニケーション	86.4	85.9	84.7	80.2	76.0
性に関する倫理や道徳	76.8	78.1	76.2	72.1	70.9

(北村邦夫：「男女の生活と意識に関する調査」2002、2004、2006、2008、2010)

ポイントも高くなっていることがわかった。わが国の人工妊娠中絶実施率が年々減少傾向を示していることを考え合わせると、中絶に限られた女性によって行われているのではないかと推測される。だとしたら、中絶防止対策は反復中絶を防止することが効果的ではないだろうか。

100%確実な避妊法がこの世の中に存在しない以上、性交が行われる誰でも妊娠する可能性がある。その妊娠が仮に意図しない、あるいは予定外の場合、やむを得ず中絶を選択せざるを得ない場合があることを、プロダクティブ・ライ

ツ(性と生殖に関する権利)として捉えることが大切である。しかし、「繰り返すこと」についてはどうだろうか。

まずは、人工妊娠中絶手術を担当した医師やコメディカルの怠慢さを問題にしたい。中絶が行われた日を月経の初日として、なぜ低用量経口避妊薬など確実な避妊法を提供できなかったか、あるいは手術が行われるのに合わせて子宮内避妊具や子宮内避妊システムの挿入を勧めることができなかったのか。加えて、今回の研究では反復中絶経験のある女性の特徴とともに(表1)、今後取り組むべき課題を明らかにすることができた。

(1)子どもの頃の家庭環境に問題はないか

「中学生の頃の家庭」について尋ねると、反復中絶経験あり群(以下「あり」群)では「楽しくなかった」割合が40.4%、「なし」群23.4%と高率であり、「両親の離婚経験」では「あり」群

「第5回男女の生活と意識に関する調査」結果

「第5回男女の生活と意識に関する調査」は、2010年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「望まない妊娠防止対策に関する総合的研究」(主任研究者：竹田省・順天堂大学医学部産科婦人科学講座教授)の一環として、分担研究者である本会家族計画研究センターの北村が中心となって実施した。これで02年、04年、06年、08年、10年の5回にわたって行われたことになる。

(本会常務理事・家族計画研究センター所長 北村 邦夫)

層化二段無作為抽出法で調査

「第5回男女の生活と意識に関する調査」を行うにあたっては、①調査の目的と必要性及び期待される成果、②調査及び学術調査の概要、③調査内容(調査目的と質問項目)の妥当性、④調査対象者の標本数及び属性について、⑤調査対象者の選定・依頼と協力について(選定基準、依頼方法、協力の詳細)、⑥調査対象者の権利の保護について(調査対象者が未成年者の場合も含む)、⑦個人情報保護を確保する方

この調査は、全国の16歳～49歳の男女3千人の訪問調査という作業方を対象とし、層化二段無作為抽出法という調査手法をもって実施した。

(1)日常生活や考え方について
(2)性の意識や知識について
(3)対象者自身の性行動について
(4)初めてのセックス(性交渉)について

(5)現在の避妊の状況について
(6)低用量ピルについて
(7)子宮頸がん予防ワクチンについて
(8)人工妊娠中絶について

09年度の保健・衛生行政業務報告によると、人工妊娠中絶実施件数は1955年の117万件をピークに以降漸減し22万

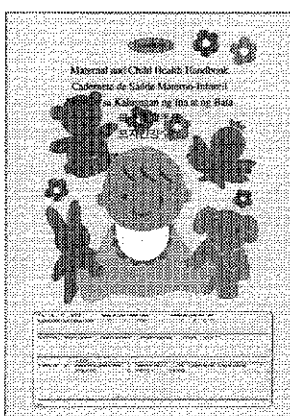
法とは、まず、①全国の市区町村を、都道府県を単位として11地区に分類し、さらに、②各地区においては、都府県規模によって大都市、人口10万人以上の市、人口10万人未満の都市、人口10万人未満の調査地点数を決め、抽出した。次に、抽出の1段階目は、③全国の市区町村を、都道府県を単位として11地区に分類し、さらに、④各地区においては、都府県規模によって大都市、人口10万人以上の市、人口10万人未満の都市、人口10万人未満の調査地点数を決め、抽出した。次に、抽出の1段階目は、③全国の市区町村を、都道府県を単位として11地区に分類し、さらに、④各地区においては、都府県規模によって大都市、人口10万人以上の市、人口10万人未満の都市、人口10万人未満の調査地点数を決め、抽出した。

人工妊娠中絶を繰り返す女性の特徴とは

これまで人工妊娠中絶の手術を受けたことが「ある」という女性は15.5%。そのうち35.6%が中絶を繰り返していた。1回目の手術を受けた年齢は23.9歳、2回目は24.9歳であった。過去の調査結果を含めると、反復中絶実施率をみると、前回に比べて10.2ポイントも高くなっていることがわかった。わが国の人工妊娠中絶実施率が年々減少傾向を示していることを考え合わせると、中絶に限られた女性によって行われているのではないかと推測される。だとしたら、中絶防止対策は反復中絶を防止することが効果的ではないだろうか。

100%確実な避妊法がこの世の中に存在しない以上、性交が行われる誰でも妊娠する可能性がある。その妊娠が仮に意図しない、あるいは予定外の場合、やむを得ず中絶を選択せざるを得ない場合があることを、プロダクティブ・ライ

お問い合わせ・ご注文は (社)日本家族計画協会へ TEL.03-3269-4727 FAX.03-3267-2658



新作 4カ国語に「中国語」「韓国語」が追加され、6カ国語となりました!!

6カ国語版母子健康手帳

市区町村窓口でぜひ常備して欲しい1冊です!!

■仕様: A4判・60頁
表紙カラー/本文2色刷
■定価: 1,800円+税

ポイント

- 全国の市町村からのご要望にこたえて6カ国語にリニューアルしました
- 6カ国語になり、これ1冊で対応できるようになったので急な外国人来訪者にも安心
- 1冊にまとまっているので各言語で用意する必要がなく、無駄が省ける

記載言語

- ・日本語
- ・英語
- ・ポルトガル語
- ・タガログ語
- ・中国語 NEW
- ・韓国語 NEW



人工妊娠中絶

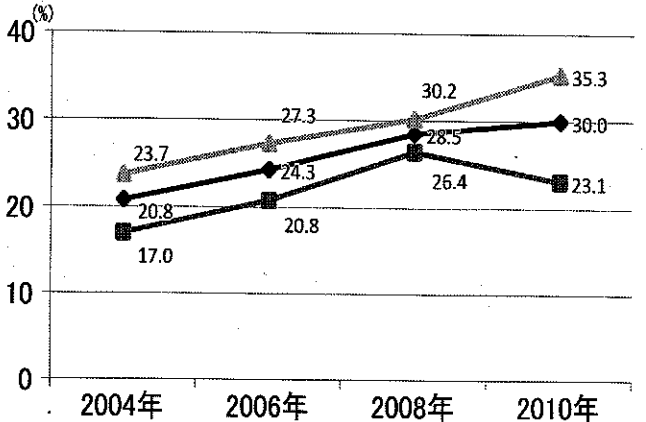


図1 モーニングアフターピル、性交後避妊、緊急避妊法の言葉を聞いたことがある割合の年次推移
(北村邦夫：「第5回男女の生活と意識に関する調査」2010)

表3 婚姻関係にある人がセックスに対して積極的になれない理由

	総数	男性	女性
n=	330	122	208
出産後何となく	20.9	18.9	22.1
面倒くさい	20.9	10.7	26.9
仕事で疲れている	16.1	19.7	13.9
セックスより楽しいことがある	5.8	4.9	6.3
家族(肉親)のように思えるから	4.2	3.3	4.8
相手がいない	3.3	8.2	0.5
相手の一方的なセックスに不満がある	1.8	2.5	1.4
妊娠することへの不安が強い	1.8	2.5	1.4
勃起障害に対する不安がある	1.8	3.3	1.0
家が狭い	1.2	2.5	0.5
セックスに際して痛みがある	0.9	0.0	1.4
その他	19.4	22.1	17.8
無回答	1.8	1.6	1.9

(北村邦夫：「第5回男女の生活と意識に関する調査」2010)

緊急避妊法を使ったことある女性推計60万人

本年2月23日、悲願であった緊急避妊薬「ノルレボ錠」(成分レボノルゲストレル)が承認された。とはいえ、わが国は医師の判断と責任によって、長年にわたって月経困難症治療剤などの適用を有する薬剤が緊急避妊を目的に使われてきたという歴史がある。さらに、本会では2000年に、本会では緊急避妊薬を処方してくれる施設ネットワークを組織するとともに、インターネットを通じて「緊急避妊ホットライン」(803-323512638)を周知してきたこともあり、認知度は極めて高い。「モーニングアフターピル」、性交後避妊、緊急避妊の本調査での質問は狭

セックスストレス化が一段と進む

日本性科学会は1994年にセックスストレスを「特別な事情がないにもかかわらず、カップルの合意した性交あるいはセクシュアル・コンタクトが1か月以上ないこと」と定義。セクシュアル・コンタクトにはキス、ペッティング、裸での同衾(どうきん)などが含まれることから、この1か月間セックス(性交渉)が行われていない」と尋ねる本調査での質問は狭

「聞いたことがある」と回答。その割合は調査を重ねるたびに上昇している(図1)。「聞いたことがある」と回答した方に「利用したことがあるか」「利用したことがない」と尋ねると「利用したこ

とがある」は男女ともに6.5%。15歳~49歳の女性人口を2653万人として計算すると緊急避妊法を過去に利用したことがある女性は延べ60万人を数えている。

表4 セックス(性交渉)をすることに、「関心がない+嫌悪している」割合の推移(%)

	2008年	2010年
男性		
16~19歳	17.5	36.1
20~24歳	11.8	21.5
25~29歳	8.3	12.1
30~34歳	8.2	5.8
35~39歳	9.2	17.3
40~44歳	13.1	18.4
女性		
16~19歳	46.9	58.5
20~24歳	25.0	35.0
25~29歳	25.0	30.6
30~34歳	30.4	45.8
35~39歳	35.7	50.0
40~44歳	47.5	55.6
45~49歳	45.4	58.6

(北村邦夫：「男女の生活と意識に関する調査」2008、2010)

「関心がない+嫌悪している」割合の推移(%)。このように、若い世代でセックスに対する関心が低下し、婚姻関係にある男女のセックスストレス化が進行することは、妊娠の機会が失われ、結果として人工妊娠中絶を減少させる可能性があるものの、同時にわが国の少子化と決して無縁ではないように思われる。

お問い合わせ・ご注文は (社)日本家族計画協会へ TEL.03-3269-4727 FAX.03-3267-2658

新作 子どもと一緒に楽しく学べる! 3歳~小学校低学年向け

うんちのはなし

うんちとげんきになる

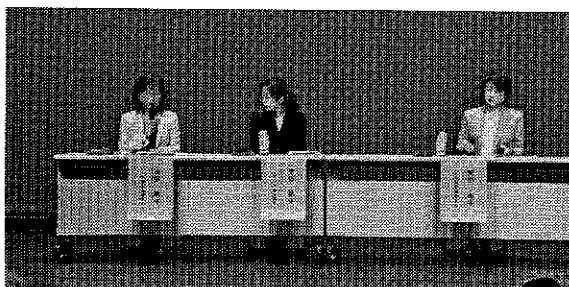
内容

- 自分から排出される「うんち」のことをきちんと知ってほしい。
- 食べ物と体とうんちの関係を知り、理想的な「ばななうんち」が作られる仕組みを知る。
- 自分のうんちがどのようなうんちか、チェック表でチェックができる。

■ 定価 本体200円+税 ■ 仕様: A5判・型抜き・16頁/オールカラー
■ 制作指導: JFPA食育推進研究会 代表 佐藤加代子
■ 多数割引あり 名入れ印刷可

生涯を通じた女性の健康づくりを支援

厚生労働省主催「女性の健康週間」イベント



厚生労働省が主催した「女性の健康週間」イベント(3月2日、東京・千代田区立内幸町ホール)では、国立成育医療研究センターの荒田尚子母性医療診療部代謝内分科医から「母性内分科医からみる成熟期女性の健康」と題して講演した。

荒田氏は、「先進諸国において、妊産婦死亡率、周産期死亡率は劇的に低下しているが、依然として先天異常、児の未熟や母体合併症に伴う乳児死亡は減っていない」として、「妊娠を前提としたヘルスケア(予防医療)の重要性を訴えた。また妊娠中のやせや肥満、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病は、将来糖尿病や高血圧症、心臓・脳血管障害、動脈硬化などの疾患を発生しやすいと指摘した。

また、健康講座や学習支援、情報提供を行うほか、乳がん検診をはじめ「女性の健康セミナー」、禁煙キャンペーンや禁煙支援を実施するほか、健康では少子化対策として特定不妊治療費の補助を行っている。

また、他保健と協同で「透明感のある肌づくり宣言」と題した若い女性向けの禁煙支援の冊子や、広く女性の健康をテーマとした、化粧ポーチに入る体積の冊子を発行するなど、企業の特長を生かした取り組みが報告された。(2面に関連記事)

花王健康保険組合・花王婦人科開発部門LCS健康開発推進室の守谷祐子氏は、同社の事業所と健康における取り組みを報告した。

同社では社員半数近く、健康被扶養者のほとんどが女性であることから、女性に合わせた健康支援を始めた。子宮がん・乳がん検診をはじめ「女性の健康セミナー」、禁煙キャンペーンや禁煙支援を実施するほか、健康では少子化対策として特定不妊治療費の補助を行っている。

また、他保健と協同で「透明感のある肌づくり宣言」と題した若い女性向けの禁煙支援の冊子や、広く女性の健康をテーマとした、化粧ポーチに入る体積の冊子を発行するなど、企業の特長を生かした取り組みが報告された。(2面に関連記事)

また、他保健と協同で「透明感のある肌づくり宣言」と題した若い女性向けの禁煙支援の冊子や、広く女性の健康をテーマとした、化粧ポーチに入る体積の冊子を発行するなど、企業の特長を生かした取り組みが報告された。(2面に関連記事)

そこで女性が妊娠前にやっておくべきこととして、①タバコをやめる②アルコール摂取を抑える③バランスのよい食事と運動を行い、正常な体重を維持する④葉酸、ビタミン等を⑤感染症のチェックと必要なワクチン接種や治療を行う⑥がんのチェック⑦慢性疾患のチェック

▽先進事例の報告
板橋区保健所健康推進課女性健康支援係の浅野陽子氏は、板橋区女性健康支援センターの取り組みについて報告した。

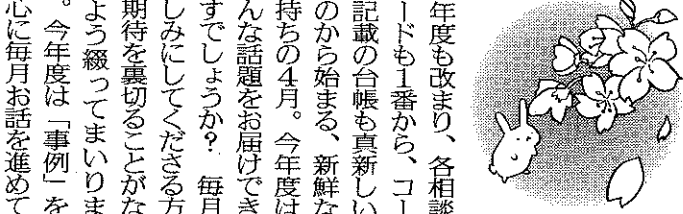
板橋区では、従来の健康支援事業は生活習慣病予防が中心だったが、平成20年6月に区の保健所に女性健康支援センターを設け、生涯を通じた女性の健康づくりの支援を始めた。「女性健康なんでも相談」を常時実施するほか、婦人科、月経と妊娠、思春期、更年期、健康講座や学習支援、情報提供を行うほか、乳がん検診をはじめ「女性の健康セミナー」、禁煙キャンペーンや禁煙支援を実施するほか、健康では少子化対策として特定不妊治療費の補助を行っている。

また、他保健と協同で「透明感のある肌づくり宣言」と題した若い女性向けの禁煙支援の冊子や、広く女性の健康をテーマとした、化粧ポーチに入る体積の冊子を発行するなど、企業の特長を生かした取り組みが報告された。(2面に関連記事)

また、他保健と協同で「透明感のある肌づくり宣言」と題した若い女性向けの禁煙支援の冊子や、広く女性の健康をテーマとした、化粧ポーチに入る体積の冊子を発行するなど、企業の特長を生かした取り組みが報告された。(2面に関連記事)

また、他保健と協同で「透明感のある肌づくり宣言」と題した若い女性向けの禁煙支援の冊子や、広く女性の健康をテーマとした、化粧ポーチに入る体積の冊子を発行するなど、企業の特長を生かした取り組みが報告された。(2面に関連記事)

また、他保健と協同で「透明感のある肌づくり宣言」と題した若い女性向けの禁煙支援の冊子や、広く女性の健康をテーマとした、化粧ポーチに入る体積の冊子を発行するなど、企業の特長を生かした取り組みが報告された。(2面に関連記事)



年度も改まり、各相談カードも1番から、コード記載の台帳も真新しいものから始まる、新鮮な気持ちの4月。今年度はどんな話題をお届けできますでしょうか。毎月楽しみにしてください。その期待を裏切ることがないよう頑張ってまいります。今年度は「事例」を中心に毎月お話を進めていく予定です。

待ちこがれた春、この時期相談室の大きな窓からは、お堀の桜を楽しむことができます。しばらく室内からのお花見を堪能し、相談開始時間になると桜を背向け、和みあふれる緊張へと気持ちを切り替えます。

思春期・FPホットラインには、子ども自身からだけでなく、心身ともに大きな変化をする時期の子どもの接する大人からの電話もあります。

一度多いのは母親からの相談電話です。先日は12歳の男の子のお母さんから、「成長していく子どもにどうやって接すればいいか」という不安げな印象を受ける相談がありました。漠然とした問いかけに、どうしたものか

内容や距離感は適切だと思いましたが、大切なことを上手に伝えておられませんでしたか?と尋ねると、「性器の洗い方は小学校2年生から教えて、自分で洗わせています。それと10歳くらいの時おねしょをしたので、これからはおしっこだけじゃなくても、パンツが濡れたら、お母さんに話しても話さなくてもいいから、パンツは替えるように」と言っていました。まだ声変わりもしていませんが「お母さん、このお母さんには、今まで通り子どもの身元に信頼

できる大人として接していただきたいと思っています。お母さんが分からないことは、本人に電話相談の番号を教えたり、本を渡したりするだけでもいいですよ」とアドバイスし、「もう少し年齢が上がり『性』の問題に直面したときはやはり母親と密着する関係には充分気をつけなければなりません」とお話しして受話器をおきました。

親もまた戸惑う思春期の子ども。ホットラインが力を発揮する。大石氏はすべての年齢層で婚前妊娠出産が増加し、「意図しない妊娠」が経済的基盤の脆弱

性を生んでいると指摘。婚前妊娠出産の摘出第一子についてみると父親の所得が明らかに低く、父母合わせた世帯収入でも所得格差は縮小せず、子どもが成長してもその格差は縮小しないことなどから、「脆弱な家庭の子どもに対する住宅、学費等が必要」と提言した。

総合討論では、座長の柳澤正義日本子ども家庭総合研究所所長が「虐待予防には妊娠中からのフォローが重要」と医療従事者の役割を指摘した。

電話相談員募集
ヒル、緊急妊娠、月経、妊娠不安、更年期などの詳細は電話でお問合せください。
【連絡先】03(3366)2694 (杉村)

子ども家庭福祉研究 公開シンポジウム 開催
子ども家庭福祉研究公開シンポジウム「子ども健全な育成をめざして」児童虐待を防ぐために

PMと更年期うつ「テーマ」に
日産婦・産科・婦人科学会 開催
産科婦人科学会を開催した。北澤正文獨協医科大学産科婦人科准教授は「PM(月経前症候群)とその治療法」をテーマに講演した。北澤氏はPMの治療法として、日記をつけるという非薬物療法のほか、低用量ピル、抗不安薬、鎮痛剤、漢方などの薬物療法を紹介。治療が必要なケースは少ないが、中にはPMと関係する意識の向上を訴えた。

ジェクスのすぐれたゼリー技術が、安全と快適をお約束。

《リューゼリー》初めての女性にも安心! ひとつ上のうるおいです。

さらっとした自然なうるおい。

ヒアルロン酸Na・コラーゲン配合でうるおい長持ち。

リューゼリー Excellent

内容量55g 1,000円(税込1,050円)
内容量110g 1,800円(税込1,890円)

《ドクターG》健全で正しいG(自慰)をサポートする専用ジェル。

リアルな音で聴覚刺激。自然な感触で上手に性欲コントロール!

さらっとした水溶性の安全成分に、ヒアルロン酸Na・コラーゲン配合!

ドクター・ジー 男性用 R100g
ドクター・ジー 女性用 R100g

内容量100g オープン価格

避妊教育ネットワーク

リレートーク ⑬



植田氏

当院はクリニックビル
の5階にあり、低用量経
口避妊薬(OC)処方ほ
もちろんのこと、ホルモ
ン補充療法(HRT)を
主とした更年期医療、骨
粗鬆症、漢方、禁煙治療
などに力をいれて診療し
ています。ビル6階には
「助産院レディースサロ
ンひまわり」を併設、母
乳・育児相談などを行っ
ています。火・土曜日は
横浜の自院で診療、月曜
日は長野県松本市で女性
外来、毎週横浜と信州の

往復を続けて8年になり
ます。
思春期関係の活動とし
ては、神奈川県産科婦人
科医会主催の学習講演会
(学校関係者対象に年1
回実施)の企画運営に携
わり、今年で3回目とな
ります。また、長野県で
は2006年に「思春期
ネット」を有志で発足、
年2回の学習会を続けて
います。このように元氣
に活動ができるのもOC
のおかげであり、OC普
及活動は私に与えられた

使命だと思っています。
OC普及活動のきっかけ
は、私自身が子宮内腫瘍と
続発性不妊症の患者で、
その苦しさから救ってく
れたのがOCでした。子
宮内腫瘍は、痛みによる
QOLの低下ばかりでな
く、不妊症の原因とな
り、子宮内腫瘍性卵巣囊
胞(チョコレート嚢胞)
はがん化する危険性があ
ります。OCが子宮内腫
瘍の治療薬として効果が
あるというのは今では当
たり前のことですが、一
昔前はそうではありません
でした。治療目的にOC
を処方しても、「そん

なの効くはずない」と他
院で言われて中断してし
まう患者さんもいて、そ
の度にやるせない思いを
しました。それでも、子
宮内腫瘍や不妊症で苦し
む女性を少しでも減らし
たいという思いからOC
処方を行ってききました。

避妊は女性を自由にする
人との繋がりを大切に
女性が幸せに生きるた
めには男性の協力も必要
です。たまたま3年前に
高校同窓会で講演をする
機会がありました。ほと
んどが男性で、しかも私
より一回りも二回りも年
輩の先輩方が大半で大変
緊張しましたが、OCや
性のことをどうしても伝
えたくて話の中に入れて
しましました。有難いことに多く
の方が真摯に耳を傾けて
くださいました。この経
験が自信となり、思春期
や女性に限定することな
く活動をしたいと思い
思うようになりまし
た。ちょうど今年にはHPV
ワクチンの公費助成が各地
で始まり、活動を広げる
チャンス大にしたい
のは人との繋がりで
継続は力なり

【略歴】1962年長野
市出身。1989年信州
大学医学部卒。甲府共立
病院、相模原協同病院な
どに勤務。2006年松
本協立病院に女性外来
(更年期外来)開設、2
007年より現職。神奈
川県産科婦人科医会学校
医委員会委員、思春期ネ
ット会長、松本短期大学
非常勤講師。

【問合せ】日本循環器管
理研究協議会
03(3398)0680

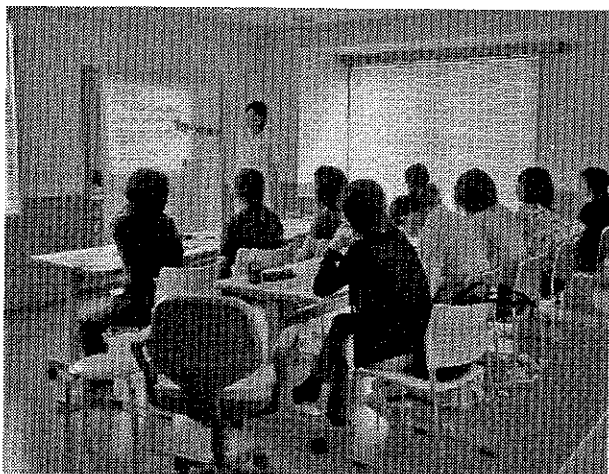
【5月の母子保健指導員研修会】
◇テーマ「講師」乳幼児
保健指導の実際とポイント
◇日時5月10日(火)
13時30分～15時30分
◇会場保健会館新館多
目的ホール(東京都新宿
区市谷町1-10)
※年間開催予定を2面に
掲載しております。

【問合せ】研修課03
(3269)4785
03(3269)2658
(目塚)

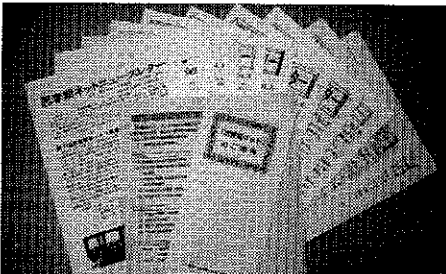
【問合せ】保健会館新館多
目的ホール(東京都新宿
区市谷町1-10)
※年間開催予定を2面に
掲載しております。

神奈川と信州で、
OCの魅力を伝え続けたい

ひまわりレディースクリニック院長 植田 啓



院内で行った養護教諭のためのOCセミナー



「思春期ネットのご案内」
とニュースレター

い(「避妊」)
という選択がこ
んなにも身も心
も自由にさせて
くれるとは思
いませんでした。
幸いにも私たち
夫婦には子ども
が一人いたため
結論を出すのは
比較的可成りた
たかもしれませ
「思春期ネット」も繋
がりの中から生まれまし
た。今年5周年を迎えま
す。性教育や思春期に関
する学習会は準備会の2
年間を入れると14回開催
したことになります。ニ
ュースレターもNo.10を発
行、まだ5年ですがよく
ここまで続けてきたと
感慨深いものがありま
す。発起人は7人、それ
ぞれ仕事と家庭で忙し
く、地道に学習会を積み
重ねていくことで精一杯
でした。それでも「学
習」は活動の糧であり、
となく孤独になりがちな
性教育に携わる会員には
励みになっていたと思
います。
とにかく継続は力な
り、これからも仲間と
も活動が続いていき
たいと思います。



ジャファパ情報

研修会」ページより、希
望のセミナーを選択して
いただくことで、WEB
から直接お申込みいた
だけるようになりました。
これにより、お忙しい
方やFAXをお持ちでな
い方でも、いつでも簡
単にお申込みが可能な
で、ぜひご利用ください。
もちろん従来どおり、F
AXや郵送でもお申し
込いただけます。

【問合せ】研修課03
(3269)4785
03(3269)2658
(目塚)

【問合せ】保健会館新館多
目的ホール(東京都新宿
区市谷町1-10)
※年間開催予定を2面に
掲載しております。

協会ラッシュニュース

◎今年も桜の季節がや
ってきました。暖かさに
誘われて、気分もフレッ
シュ！何か新しいこと
を始めたいと感じる新年
度です。
◎ところで、本会の教

故に気づけよう！へ
と変わったためです。
※同データを掲載してい
る健康メモやパンフレッ
トにつきましても、順次
最新のものと切り替え
てまいります。在庫状況
により、切り替え時期が
異なりますのでご了承ください。
(TA)

【テーマ】「脂質異常の
知識と保健指導の技術」
【日時】4月16日(土)13時
～18時
【会場】結核予防会5階
会議室(東京都千代田区
【講師】結核予防会
【主催】日本循環器管
理研究協議会/公益財団法
人結核予防会

【テーマ】講師「乳幼
保健指導の実際とポイント」
【日時】5月10日(火)
13時30分～15時30分
【会場】保健会館新館多
目的ホール(東京都新宿
区市谷町1-10)
※年間開催予定を2面に
掲載しております。

【問合せ】日本循環器管
理研究協議会
03(3398)0680

【問合せ】研修課03
(3269)4785
03(3269)2658
(目塚)

【問合せ】保健会館新館多
目的ホール(東京都新宿
区市谷町1-10)
※年間開催予定を2面に
掲載しております。

【問合せ】保健会館新館多
目的ホール(東京都新宿
区市谷町1-10)
※年間開催予定を2面に
掲載しております。

【問合せ】保健会館新館多
目的ホール(東京都新宿
区市谷町1-10)
※年間開催予定を2面に
掲載しております。

女性のカラダとココロ、ライフデザインをサポート

OC情報センターは、OC(低用量ピル)を日本で販売する製薬会社5社によって運営されているOCに関する広報機関です。

OCに関する正しい知識の普及を目指すことを目的とした、
医療従事者及びマスメディア向けの資料・資料の制作、提供などを行っています。

参加製薬会社(五十音順)

あすか製薬株式会社

MSD株式会社

科研製薬株式会社

バイエル薬品株式会社

特田製薬株式会社

[http://www.pill-ocic.net]

OC情報センター(事務局) | 〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目18番2号 明海京橋ビル2階